令和7年度 第1回磐田市障害者施策推進協議会 会議録

【日 時】 令和7年8月 22日(金)午後 1 時 30 分～午後2時 30 分

【会 場】 磐田市総合健康福祉会館(iプラザ)2階 ふれあい交流室 1

【出欠席】

協議会委員(名簿順)

出席 : 中村千晶、鈴木眞喜子、高橋隆代、鈴木文子、寺田敏雄、鈴木 敏弘、村松健次、
飯田明弘、松本一男、唐木ななえ、井川淳史、織部恵理子、須田妃世李、鈴木香奈

欠席 : 森下昌司

事務局 : 佐原健康福祉部長、神谷福祉相談課長、角、大平、酒井
伊藤こども未来課長、青木

1. 開会
2. 部長あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 協議事項
  - (1) 第4期磐田市障害者計画の実績報告について
  - (2) 第7期磐田市障害福祉計画及び第3期磐田市障害児福祉計画の実績報告について
5. 報告事項
令和7年度重点施策 障がい者就労アンケートについて
6. 事務連絡
7. 閉会

- 会 長: それでは、次第4の協議事項(1)「第4期磐田市障害者計画の実績報告について」事務局から説明をお願いします。
- 事 務 局: 事務局説明 (第4期磐田市障害者計画の実績報告について説明)
- 会 長: 質問、御意見がありましたらお願いします。
- 委 員: 地域生活支援拠点の設置のことで、令和7年1月に整備され、登録者が1名ですが、この方の利用状況を教えてください。
- 事 務 局: 登録者は障害福祉サービスにつながっている方、となっている。
- 会 長: 質問、御意見がありましたらお願いします。
- 委 員: どういう状況の場合に、ここに登録対象となるのか。
- 事 務 局: 障害のある方を介護している方が、急病や入院で介護できない状態になったときを想定して登録をしていただくような制度になっている。登録のほうは、今後も勧めていきたい。
- 会 長: 質問、御意見がありましたらお願いします。
- 委 員: 障害者雇用、就労の促進とあるが、現在の就労状況や市内の企業の障害者雇用の状況はどうか。
- 事 務 局: 就労の状況については、総合後期総合計画の後期基本計画の中で定めている数値になる。就労後、福祉的就労と合わせて令和6年度時点では1,932人が就労されているという把握はしている。企業の就労状況についてはハローワーク等と連携しているが、はっきりした数字は把握できていない。
- 会 長: 他に質問が無いようですので次に移ります。(2)「第7期磐田市障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の実績報告について」、事務局から説明をお願いします。
- 事 務 局: 事務局説明 (第7期磐田市障害福祉計画の実績報告について説明)
- 会 長: 質問、御意見がありましたらお願いします。
- 委 員: 短期入所の数字は目標値より少ないが、コロナウイルスに感染した場合、施設閉鎖になる場合があるが、そういう報告は市にあがってくるのか。自粛や閉鎖で数が減っているのも原因ではないか。
- 事 務 局: コロナウイルスの流行時は県の報告義務があった。感染症が増えない要因とは考えにくい。
- 会 長: 質問、御意見が無いようですので次に移ります。つづきまして、「第3期障害児福祉計画の実績報告について」事務局から説明をお願いします。
- 事 務 局: 事務局説明 (第3期障害児福祉計画の実績報告について説明)
- 会 長: 質問、御意見がありましたらお願いいたします。
- 委 員: 放課後等デイサービスの計画が人数677、サービス量は8,538という計画は、受け入れ事業所の計画の範囲を超えているのか、下回っているのか。
- 事 務 局: 基本的には事業所の許容範囲内の数字で計算している。
- 会 長: 質問、御意見が無いようですので次に移ります。つづきまして、「地域生活支援事業について」事務局から説明をお願いします。
- 事 務 局: 事務局説明 (地域生活支援事業について説明)
- 会 長: 質問、御意見が無いようですので次に移ります。つづきまして、「報告事項」令和7年度重点施策の障害者の就労に関するアンケートについて、事務局から説明をお願いします。ま

た資料はありませんが、医療的ケア児者とその家族に関するアンケートについてもお願いします。

事務局：事務局説明（令和7年度重点施策の障害者の就労に関するアンケートと医療的ケア児者とその家族に関するアンケートについて説明）

会長：質問、御意見がありましたらお願いします。

委員：就労に関するアンケート結果は公表するのか。

事務局：報告書については、市のホームページに掲載し、可能であれば第2回施策推進協議会で説明させていただく予定。

会長：他に質問、御意見がありましたらお願いします。

委員：障害を持っておられる方の災害時の対応について、やはり分からない。研修の時に講師が地震の場合は、自宅避難が原則と説明した。障害を持った方から、みんなが困っているときに、うちだけ助けてとは言えないと聞いている。災害時の対応は地震と水害でも違うし、自宅避難もあるが、避難所へ行けば法的な支援が受けられるともいわれる。自宅避難の場合は情報が入らない。要望だが、そういうのは早急に関係者の団体等と相談し合って、先ほどの緊急時生活拠点事業も1人登録されているが、幅広く知って、皆さんが登録できるようにした方がよいと思う。

事務局：災害時支援の関係は、全庁的にやっていく必要があると考えている。災害時の要配慮者支援体制の整備として、避難行動の要支援者名簿を作成し、個別避難計画の作成も進められている。被害の状況にもよるが、情報は避難所に取りに行っていく必要があると考えている。インターネットもあるが、避難所に張り紙等で示していくことになると思うので、食料などの配給時に情報収集するようになると思われる。

委員：自宅避難の場合に自分の子どもは理解できないかもしれない。情報も電気が使えなくなると、非常に困るのではないか。やはりこの子を置いて、私だけ情報を取りに行くことは、難しい家庭もあるのではないか。一步ずつでもいいから議題にしながらか進めていくことが必要だと思う。災害の質も変わってきているのでお願いしたい。

事務局：私も委員が参加された研修会に参加した。そのときに、例えば地域FMのようなものをつくらどうかという話もあり、例えば本庁に常時開設して情報を流し、皆さんが情報をとれるようにしたらどうか。私が思ったのは、ホットライン、スマホのツールになるが、防災無線と同等で常時使えるものだと思っている。年齢の大きい方も、無線のホットラインを登録すれば、情報は入ってくると思う。災害時に心配されるのは皆さん同じだが、特に障害をお持ちの方は、健常者の方よりも心配になられることは、非常に理解できる。研修では自分の身は自分で守るという話も出ていたが、今回の個別避難計画は、周りの皆さんでどう助けていくかということ承知して具現化していくものだと思っている。行政が皆さん全てを助けるというのは現実的ではないので、各自治会で皆さん助け合って計画を作っていただきたい。

委員：住民たちが一番欲しがっているのは、赤ちゃんを育てるお母さん方は、子供たちの居場所、小学生は遊び場とか、高齢者はサロンのような場所を求めている。やはり一人ひとりを残すことなく書かれているので、少しずつ取り組んでいるだろうなと思っている。

会長：貴重な御意見ありがとうございます。ほか御意見とか、ありましたらよろしくお願いします。

委員：障がい者相談支援センターが中心になっている障害の団体が集まる自立支援協議会が

あり、今年度重度障害の方が通う生活介護事業所の人たちと災害時について検討した。磐田の地形を生かして、南側で被災したら北側の施設を助け、北側で何かあった場合は、南側の施設を助けるという内容でまだ具体策はないが、障害のある方を支える人たちで、話し合いが始まっているので報告しておきたい。隣市もそうだが海側と山側で、起きる災害も避難の仕方って変わってくるので、障害のある方もない方も含めて、住んでいる地域で検討するのの一つかと思う。

会 長：他に質問、御意見がありましたらお願いします。

委 員：視覚障害者の同行援護だが、サービス量は増えているので、ヘルパーや事業所を増やしていただきたいのが私たちの願いである。災害時については9月から視覚障害者用の耳で聞くハザードマップが、静岡県でもできるようにならしい。使えるようになったら、業者に分かるような案内をしていただきたい。

会 長：本日予定されている協議事項がすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

事 務 局：以上を持ちまして、令和7年度第1回磐田市障害者施策推進協議会を終了させていただきます。